

新年のご挨拶 目黒ユネスコ協会会長 齊藤 真澄

謹賀新年 皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年11月、新任の高橋和人目黒区教育長に、三役でご挨拶に行って参りました。教育長(写真中央)は、終始優しい笑顔で、引き続きのご支援を約束してくださいました。有難うございます。



目黒ユネスコ協会は2024年10月、70周年を迎えました。この長い年月、目黒区・目黒区教育委員会からは大きな信頼を頂き、受託・共催事業を中心に、国際理解・国際交流の推進や、地域の文化の向上を目指して、区民の皆様と共に歩んでまいりました。お陰様で会員200余名、外国人会員も 90余名を数え、日本でもトップの会員数を誇ります。事業内容もコロナ以前の活動が戻って参りました。「心の中に平和のとりでを築く」を合言葉に、世界の平和を願って、今年も地道な活動をしてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

目黒ユネスコ国際交流ひろば 日帰りバスツアー「富士山を学ぼう」



主催:目黒区教育委員会 主管:NPO法人目黒ユネスコ協会

日時:11月14日(金) 参加者:65名 内外国人:22名



雲ひとつない最高の天気にめぐまれて、私たちは目黒川舟入場公園を出発した。車中からも富士山がよく見えて、この日が素晴らしいものになるという期待に我々スタッフも胸がふくらんだ。

最初に訪れたのは、「白糸の滝」、高さ 20m幅・150mの絶壁から流れ落ちる数百の滝はその名にふさわしく圧巻であった。出発時間が遅れたことや交通渋滞のため、十分な時間ではなかったが、皆さん散策を楽しまれたようである。昼食は富士山を見ながらのバーベキュー、6人ずつに分かれて実施。焼く人・食べる人・待つ人…初めて出会う参加者がほとんどの中、会話に笑顔がこぼれていた。次は「富士山本宮浅間大社」参拝、ちょうど菊の展示が行われていて、大社とのコントラストが美しく写真に収める姿が多くあった。そして歴史・文化・自然など、富士山を多角的に紹介する「富士山世界遺産センター」見学。1階から 5 階までの螺旋スロープは、上りながら展示を鑑賞することで富士登山を疑似体験するものである。最上階からは富士山全容が大きく広がって見えた。世界文化遺産としての富士山は、25 の構成資産を持つ。今回訪れたのは、その中の二か所だけであり、「信仰の対象と芸術の源泉」としての富士山をもっと知りたいと感じたのは私だけではなかろう。

交流 鈴木やよい

第58回ユネスコ美術展に寄せて

皆様ご存じかと思いますが、昭和 29 年の目黒ユネスコ協会の立ち上げに目黒の美術家たちが関わっていました。広島平和の鐘の作者香取正彦氏、目黒寄生虫館を創られた医師の亀谷了氏、他著名な陶芸家、美術家(30 名)たちです。もう二度とあのような戦争はいけないと美術部員は「美術(芸術)は如何に平和に貢献できるか」を命題に展覧会を組織し、「美術は、全世界の人々が愛するものであり、理解できるものである。美術(芸術)は言葉と同様に人々の心を結ぶことができる」と目黒ユネスコ美術展を立ち上げ、昭和 40 年以降は目黒区文化祭参加プログラムの一つとなり、従来の美術作家と一緒に在日外国人、留学生、一般会員美術愛好家、日本と世界の子供たちの発表の場となりました。そして目黒区美術館が落成以来、区民ギャラリーを会場として使わせていただき、その中で「平和を考える企画展、文化講座、美術教室生徒作品、チャリティーコーナー」なども設けて、一般区民やユネスコ会員の交流につながる美術展として、なくてはならない存在になっています。



目黒ユネスコ協会も創立から 71 年を過ぎ、時代とともに平和活動のあり様も変化してきましたが、いまだに世界各地において武力紛争はなくならず、その犠牲者である子供たちのことを思うと心が痛みます。我が国においても、14 年前の 3.11 東日本大震災とそれに伴う津波で多くの方が亡くなり、福島では原発事故も加わるなど、すべての日本国民が自然の脅威を目の当たりにしました。また近年、地球規模の温暖化による気候変動による、災害が多発、3 年に及ぶ新型コロナウイルスによる環境の変化、さらに突然なロシアによるウクライナ侵攻など。予想もつかない新たな脅威と向き合う中、年代を問わず人々の心の分断が起きています。このような中、美術展を通じ先代たちが築いてきた平和につながる「アートで心を結ぶ」活動が今まさに必要ではないでしょうか。ユネスコ憲章前文にある「戦争は人の心の中から生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」を命題に諸先輩の平和の思いをつなぐこの美術展にこれからも力を入れていきたいと思っています。

芸術文化担当 望月 昇



主催:NPO 法人目黒ユネスコ協会・目黒区・目黒区文化団体連合会・(公財)目黒区芸術文化振興財団

協力:目黒区立五本木小学校・サカベコ・アートハウス

会場:目黒区美術館区民ギャラリー 日時:2025年11月19日~11月24日

第11回目黒ユネスコ青少年フェスタ

日時:2025年11月23日 会場:区民ギャラリー
主催:目黒区教育委員会・主管:NPO法人目黒ユネスコ協会



今回の青少年フェスタは目黒ユネスコ美術展会場の一角で開催され、渡邊レーファさん、永井音羽さんのお二人が司会を務めてくれた。初めに、トキワ松マンドリンギター部による演奏を画面で視聴した。本年度の目黒区平和の特派員7人の小中学生の皆さんによる、広島の平和式典に参加し、原爆記念館を見学したり、被爆者の方のお話を伺つたりしたことの報告があった。ユネスコスクールの五本木小学校の皆さんは、SDGs達成のために学校の子どもたちの興味を掘り起こしながら取り組んでいる具体的な活動を発表してくれた。

国際協力アドバイザーの佐藤真紀さんからは、「パレスチナの紛争とガザの子供たちの現状から平和を考える」のテーマで講演をしていただいた。現地を何度も訪れている佐藤さんのお話や画像資料は、会場に掲示されたたくさん現地の写真とともにわかりやすく、説得力のあるものだった。続いての参加者全員によるディスカッションでは、最初に一人一人が風船に「みんなで同じものや感情を分かり合える」「家族ということ」「どこにでも行けること」「食べられること」など「自分が考える平和」を書き、それをお互いに交換して話し合うことで「平和」について深めていった。最後に、佐藤さんの指導で、パレスチナなどの新聞などを切り取ったものを張り子に貼り付けた独自の赤べこを完成させた。平和について青少年が真摯に考えるよい機会となった。

当日の様子は目黒ユネスコのHP、YouTubeで配信していく。

青少年 岩佐 富雄

ユネスコ文化講座 書道のユネスコ無形文化遺産登録を目指して



主催:目黒区教育委員会 主管:NPO法人目黒ユネスコ協会 2025年11月30日(日)13:30~16:00

講師:石川青邱氏 書家 日展準会員 読売書法会常任理事 助講師:板倉里佳氏 書家 日展入選 読売書法会理事
挨拶:佐藤禎一氏 東京国立博物館名誉館長 元ユネスコ代表部特命全権大使 会場:緑が丘文化会館 参加:50名

書道のユネスコ無形文化遺産登録に向けて機運が高まる中、目黒区ご出身の石川青邱先生とのご縁を頂き、本講座の開講が決まった。講座冒頭、世界遺産制度の概要と書道の申請状況について、元ユネスコ代表部特命全権大使の佐藤禎一氏よりご説明頂いた。青木区長、鈴木区議会議長、西村区議にもお越し頂いた。日本の書道は、中国唐代の王羲之(おうぎし)の書の影響を大いに受けている。石川先生がスクリーンに映し出された王羲之の書と空海の書を比較して説明された。

講演後のアンケートで「感動した」との多くの声を頂いた講師の先生方による実演では、板倉先生は変体仮名や連綿(続け書き)が特徴の優美な「かな」作品を、門弟の原先生は七言律詩を、石川先生は日展出品作品と同様に『究暢』と書かれた。筆に墨をたっぷりと含ませ、ぐいぐいと迫力のある筆遣いに一同圧倒された。作品作りについて、「何度も草稿を重ね、原稿を練り上げる。余白を意識し最後の印の位置まで気を配る。特に特選受賞作品を仕上げた際は、1500枚は書いた」とのこと。石川先生は日展出品作品中、僅か0.8%にしか与えられない「特選」を二度受賞されている。ワークショップでは、皆思い思いの文字を色紙に書き、それを手に記念撮影。石川先生ご直筆の、令和八年干支「午(馬)」の色紙が抽選で参加者に贈られ、和やかに閉講した。

研修 菱田 秀子

■新年会のお誘い

日時:2026年1月24日(土)13:30~15:30
会場:目黒区役所1Fレストラン
会費:1,000円(軽食代含む)
申込:電話(月~金/13:00~16:00)・FAX&メール
締切:1/20(火) *ご参加お待ちしております。

■書きそんじハガキ回収キャンペーン ～ユネスコ世界寺子屋運動にご協力を～

期間:2026年1月16日(金)~2月6日(金)
目黒区各施設・区内小中学校等に設置の回収箱に、
書きそんじハガキや、未使用テレホンカードを回収し、
日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋運動、アジアの
発展途上国の識字教育支援に協力します。

●都工連研修会

日時:2026年2月23日(月祝)13:00~
会場:杉並区阿佐ヶ谷地域区民センター
参加費:無料 テーマ:「戦後80年を迎えて」
申込・問合:1/15(木)~ 事務局齊藤まで

1月以降の予定

- ▲1/13(火)～3/21(土)日本語教室
 - 1/14(水)発送連絡会
 - 1/16(金)～2/6(金)
書きそんじハガキ回収キャンペーン
 - 1/24(土)13:30～ 新年会
 - ★1/25(日)文化講座③平山郁夫
 - 2/1(日)第6回理事会
 - ★2/6(金)～3/6(金)美術教室「ガラスアート」
 - ★2/21(土)サイエンス教室
 - 2/23(月祝)都ユ連研修会
 - 3/1(日)チャリティーバザー
 - 自主語学教室6講座(仏・英・独・伊・中)
 - 事務局:月曜～金曜:13:00～16:00

- 目黒ネスコ協会主催
- 目黒ニ協会の関連機関・団体との協力事業
- ▲目黒ニ協会の関連機関・団体との共催事業
- ★目黒教育委員会からの受託事業



■美術教室 「古代技法で作るガラス工芸」

日時:2026年2月6日(金)～3月6日(金)全5回
会場:緑が丘文化会館
講師:由水 直樹氏
(ガラス工芸作家・ハリーズガラスアートスタジオ代表)
参加費:6,000円(材料費)
締切:1/25・一般区民優先 20名 **区報 1/15**
申込:往復ハガキに住所・氏名・電話番号・年代明記

■目黒ユネスコチャリティーバザー

会場:さくらプラザ(1F)・ 於/館祭り会場
日時:2026年3月1日(日)11:00~14:00
献品＆スタッフ募集中 ❤受付:1月15日以降隨時
問合せ:目黒ユ協事務局 担当宮城事務局長まで

★ユネスコ文化講座③

★文化講座③「平山郁夫—仏教伝来と旅の軌跡」
日時:2026年1月25日(日)14:00~15:30
会場:中目黒 GT プラザホール
講師:大塚裕一氏 *満席のため募集終了。

■新入会員 どうぞよろしく (敬称略)
◇ 矢口 智子 ◇ 榎本 昭

◇会員募集中◇ 趣旨に賛同される方の入会を歓迎いたします。問合せ:事務局(宮城)迄。

編集後記 私はイタリア旅行をきっかけにイタリア歴史・文化に興味を持ち、縁あってユネスコ自主語学教室でイタリア語を学んできました。また広報紙に世界遺産「軍艦島」の寄稿文を投稿し、その縁で広報委員として、現在活動中。「一期一会」私の大好きな言葉です。世界人口82億人の中で生涯果たして何人の人に会うことができるのでしょうか？また、学問・芸術・文化・歴史との出会いもあります。出会えたことへの偶然的必然性に感謝し、その意味を考えます。私はその一期一会の連續性の中で学び、世界を広げることが出来たと感じています。自国のみならず、異なる国の歴史・文化を学び理解することによる一期一会が、人の心の中に平和の砦を築く礎にもなるのではないでしょうか？ 今年もどんな「一期一会」が私をどこに運んでくれるのか楽しみです。 和田 広美

※ お詫びと訂正 SN375号2P
(誤)毛利知明→(正)毛利友明

※ お詫び:本号の取材にあたって失礼があったことをお詫び申し上げます。広報委員会

